

ともしび通信

教会の参観日



①10月31日(日) ②11月7日(日) ③11月14日(日)

〔I礼拝 10:30~11:45 II礼拝 16:00~17:00〕

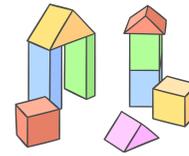
小学校では「授業参観」という、普段の授業を父母に見てもらい、学校の教育活動に対する理解を得るとともに、学校との交流を深めることが目ざされています。その趣旨を教会でも導入したいというのが「教会参観日」です。当教会の牧師は最近まで、小学校の教員と教会の牧師を兼任してきました。教え導くことを使命としています。ちょっと行ってみたいけれど敷居が高そうだな〜と先入観のある方も、どうぞお気軽に「参観」してください。

町田バプテスト教会
町田市つくしの2-31-4 【TEL】 042-796-3822

集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。
www.ne.jp/asahi/machida/church/

子育てサークルハンナの会



ハンナの会は子育てに疲れたり悩んでいるお母さんに元気を与える会です。お子様はお預かりしますのでゆっくりお話しが出来ます。体験してみませんか。
毎月第4火曜日
10:30~13:00 屋食付き

トールペイントサークル



賛美とメッセージの心穏やかなひととき...。色とりどりの花を描く思索のひととき...。お茶を飲みながら語らうひととき...。ご一緒にいかがですか。
毎月第1水・金曜日
10:00~12:30

木曜婦人集会



家事、育児、仕事に忙しい女性達がありのままの自分でいられる場所。聖書で新しい力を得、励まし合い、明日への指針を見出せる、あなたの時間です。
毎週木曜日(第2木は婦人礼拝)
10:30~12:00

日曜礼拝

聖書の主題であるイエス・キリストを通して、人生の意味や心の問題を解く鍵が礼拝で語られます。
毎日曜日
I礼拝 10:30~11:45
II礼拝 16:00~17:00

教会学校

幼児から大人に分かれて、聖書を系統的に学んでいます。特に子ども達にとって、若い時に身に付けた善悪の基準は生涯の宝となります。
毎日曜日
9:00~10:00

水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、日々を振り返りながら静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で、各巻を順番に学んでいます。
毎水曜日
19:30~21:00

壮年会

壮年会ではテキストを使って聖書の学びや賛美集会、教会カフェ、日帰り温泉などのプランがあります。
毎月第2日曜日
13:30~15:00

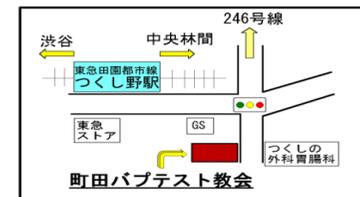
婦人会

日曜午後の集いは、各々が抱えている問題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかな時です。
毎月第2日曜日
13:30~15:00

青年会

大学生から社会人まで、月1回ランチをともにしながら、語り、励まし合い、祈りあうひと時です。
毎月第2日曜日
12:30~13:30

- どの集会も参加自由です。お気軽においでください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822



編集後記

「ともしび通信64号」をお届けします。「教会の参観日」、聞きなれないことばだと思いますが、教会を参観していただきたいという気持ちから生まれました。3日間の予定を組んでいます。初めての方でもわかりやすいメッセージを牧師が用意しています。クリスチャンの方は初心に戻って聞くということですね。どうぞ、ご期待ください。(徳島昭)

隣人を愛し続ける力はどこから来る

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。ルカ一〇章二七節」

隣人とは、身近な人の意味ですが、これは本当に難しいことです。遠い人なら裏切られても、期待通りにならなくても、関係をやめればすみません。しかし身近な人の場合はそうはいきません。簡単に離れることも、関係をやめることもできません。もちろん、人間はみな愛し、愛される関係の中にいますから、多少の問題があっても愛と信頼によって忍耐しています。

しかし、人間は弱い者ですから、愛しても相手から愛が返ってこなければいつか疲れ、愛も枯れ果てます。そしていつか傷つき、憎しみと怒りの世界の陥ってしまいます。ではなぜキリストはこのように言われたのでしょうか？

それはまずイエス・キリストご自身が、私たち一人一人を愛し、私たちの身代わりとなって十字架で死なれたからです。そして、信じる者には罪の赦しと永遠の命を与えて下さると約束して下さいました。また、そればかりではなく、愛は「赦しと犠牲」が必要なことを身をもって示して下さいました。愛に境界を感じた時、教会に集いキリストの愛を知り、新たな愛の力を得てほしいと願っています。



信頼はあるものではなく、創るもの

教員になって間もない頃の最大の恐怖は授業参観でした。教師も、子ども達も、良い所を見てもらおうと、最高レベルまで緊張してしまします。その結果、普段なら出来る事まで失敗してしまいうこともありました。教員になって7、8年経った授業参観で、その日も極度に緊張し、大変な失敗をしてしまいました。そして授業に続いて学級懇談会が開かれました。私の心は恥ずかしさと悔しさで、一杯でした。しかしその時、あるお母さんが「先生、今日は緊張して上手くいかなかったけれど、普段は明るく分かりやすい授業をして下さり、家の子どもは先生が大好きなのです」と述べられたのです。

そして同調するように、他のお母様方からも励ましやお礼のことばが述べられたのです。その時初めて「あっ、そうだったのだ」と気がつきました。味方であるなら、緊張しなくても良かったんだと思え、ほどなく授業参観の緊張は無くなりました。保護者の方が私を信頼してくださっていたのに、私が勝手に敵対していたことに深く反省しました。そして何よりも、すべての人間関係の基は信頼の上に築かれますが、その信頼は最初からあるものではなく、互いに努力して、日々築いていかなければならないことを学びました。



私的映画批評

「ピエロの赤い鼻」二〇〇三年 仏作品 松本勇哉

「笑い」は最強の武器である。「映画の冒頭の言葉だ。」

舞台は60年代フランス。ある教師は、週末になると赤い鼻をつけ公民館の舞台上でピエロを演じている。教師の息子は、自分から笑いものになる父が情けなく嫌でたまらなかつた。あるとき息子は、父の友人から父親がピエロとなるきっかけとなった赤い鼻をつけた、元ピエロのドイツ兵の話を知ることになった。

主人公の演じるピエロは、どこか悲しさがあって（それは自分の犯した過ちを背負っているからなのだが）、悲しさの上に作られる「笑い」とそれを見て大笑いしている観客のシーンが心に残った。

「笑い」の効能はよく聞かぬが、「笑い」は、一人では絶対にできず誰かが身をもって「笑い」ものになってくれている。武器になる「笑い」なのだろうか。

そういうえば、よく行く病院にもピエロがいる。ホスピタルクラウンといつて、子どもらしさを失いがちな闘病中の子ども達に笑顔を届け、キラキラした瞳を取り戻すお手伝いをしているらしい。病氣にも「笑い」は武器でした。

マダムリュウの瞬間的チャイニーズクッキング



「蒸しハンバーグ」

材料4人分：ひき肉（鶏十豚）200g、タケノコ50g、シイタケ3つ（レンジでも可）。作り方：タケノコ、シイタケをみじん切りにし、ひき肉とよく混ぜ合わせます。コツは手で力を入れること。塩、コショウ、しょう油を適当に少々、お酒を少し多めに、砂糖はひとつまみ程度加えてもう一度しっかりこねます。これに水、150cc入れてまたこねます。次に大きなハンバーグのようなカタチにしてドーナツに入れ、しばらく蒸します。食方はそれぞれ工夫してください。ふつうはこのまま皆で食べます。

「読み方当てクイズー！」

二文字屋修

韓国ドラマを「ハンリユー」と言うのは、台湾から火が付いたブームで、中国語の発音がそのまま日本に入ってきたからです。日本では外来語をそのままカタカナにしますが中国語は漢字変換しなければなりません。たとえばパソコンを電脳と訳します。エイスは「愛之病」と書いてアイズピンと発音し音も意味も兼ねています。同じ発音で「愛滋病」とも書きます。こちらの方は意味深長ですね。世界的に流行している村上春樹小説。「電視人」は「TVピープル」、「世界尽頭と冷酷仙境」は「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」原作名が長いのでこうなってしまう。では、「舞！舞！舞！」の題名は何でしょう。

シリーズ・チャレンジする男達 『本当に変わらないうもの』

横山英一

私は還暦を越えたクリスチャン医師です。三〇歳のころは、「功績」よりも「医学的事実」を探求したいという思いで、前立腺の研究に没頭していました。

私の行った研究は今でも否定されずに生き残っています。が、医学論文の半数は五年以内に次の事実が発見されて、消えて無くなってしまいうそです。これが医学の進歩なのでしょうが、現時点で「正しい」とされていることでも将来はそれが簡単に否定されたり、消滅してしまう可能性があります。わけてです。



病氣は悪い血液が流れているから起こるので、血液を抜いて病気を治そうとする寫血（シャケツ）療法は、つい二〇〇年前までは世界中で盛んに行われていたそうです。アメリカ初代大統領のジョージ・ワシントンも、最終的には一七七九年、寫血によって死んだのではないかともいわれています。

社会の制度も経済もめまぐるしく変わり、骨董品以外に世の中で『本当に変わらないうもの』を見つけないことは至難の業です。しかし聖書は『変わるのではない神の言葉』が書かれています。変わらないう聖書の真理を基盤にして、今ある医学的知識と技術を応用しながら毎日の診療を行うように努めています。